

高岡の都市計画



R7.12.13 高岡市都市計画課

1. 都市計画とは
2. 高岡市の現況と課題
3. 高岡市が目指すまちづくり
4. 市街化調整区域での土地活用

都市計画とは

<市街化調整区域>

農地を大切にし（市街化を抑制し）、乱開発が行われないようにする区域

都市計画区域

区域区分（線引き）

市街化調整区域

市街化区域

住宅地

商業地

住宅地

公園

用途地域

道路

都市施設

<市街化区域>

すでに市街地を形成している区域と、おおむね10年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域

都市計画とは

45年で、どのように変わったでしょう？

1977年



2022年



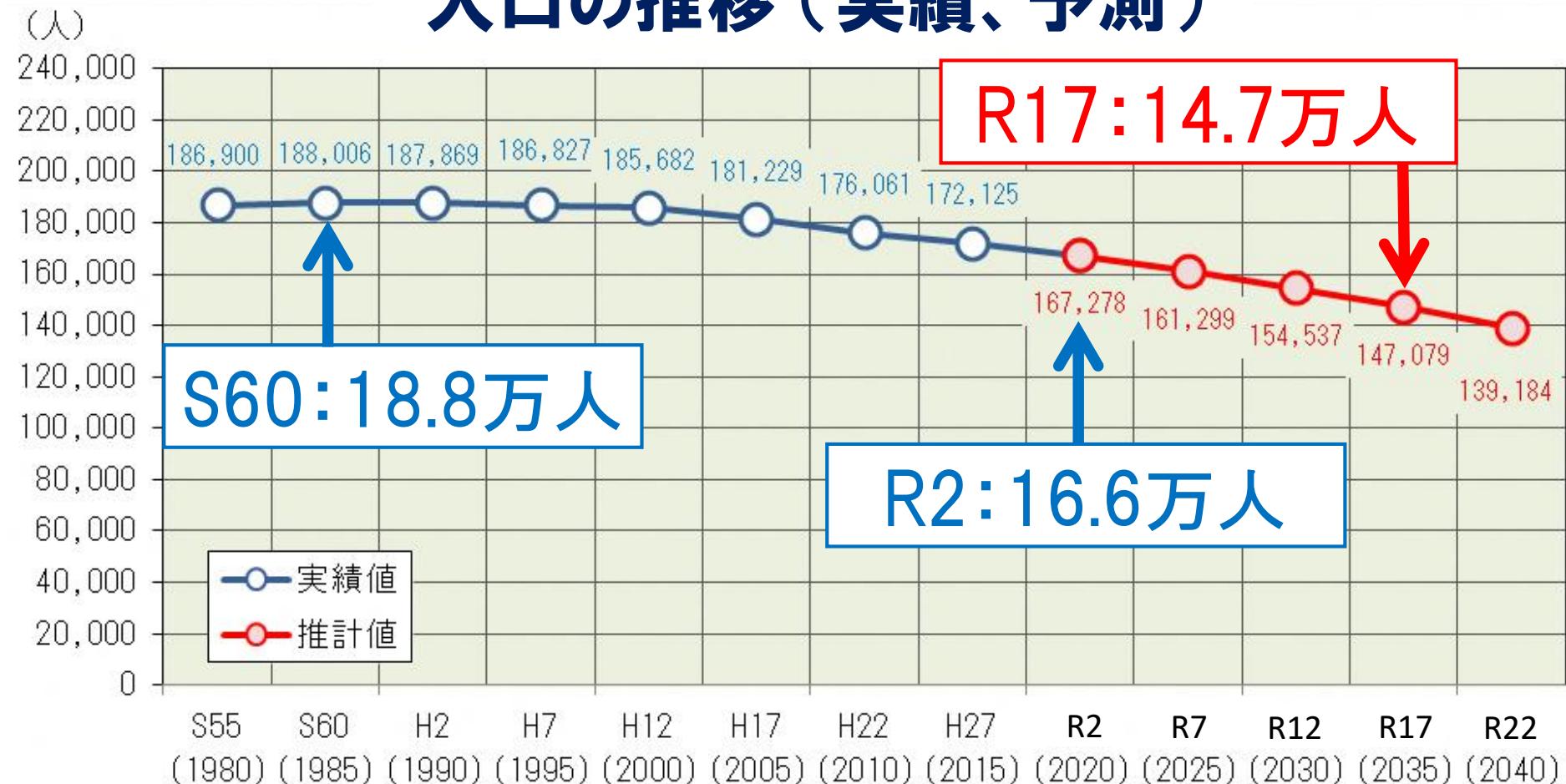
出典：地理院地図

市街化区域は順調に開発が進み、
市街化調整区域は農地が守られています。

高岡市の現況と課題

R2から15年で11%(1.9万人)減少

人口の推移（実績、予測）



高岡市の現況と課題

市街地の人口の低密度化が進行

人口集中地区(DID)

S45年DID

H27年DID

DID面積の推移(S45→H27)

市街地が**2倍**に拡大

人口密度は**1/2**に

- ・身近な生活サービスが維持困難
- ・市街地の求心力の低下

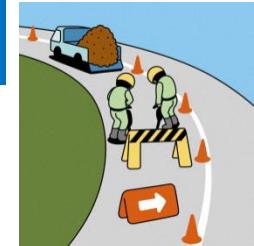
高岡市の現況と課題

このまま都市が拡大し続けると
インフラや公共施設の維持が難しい

特に課題となるのが…

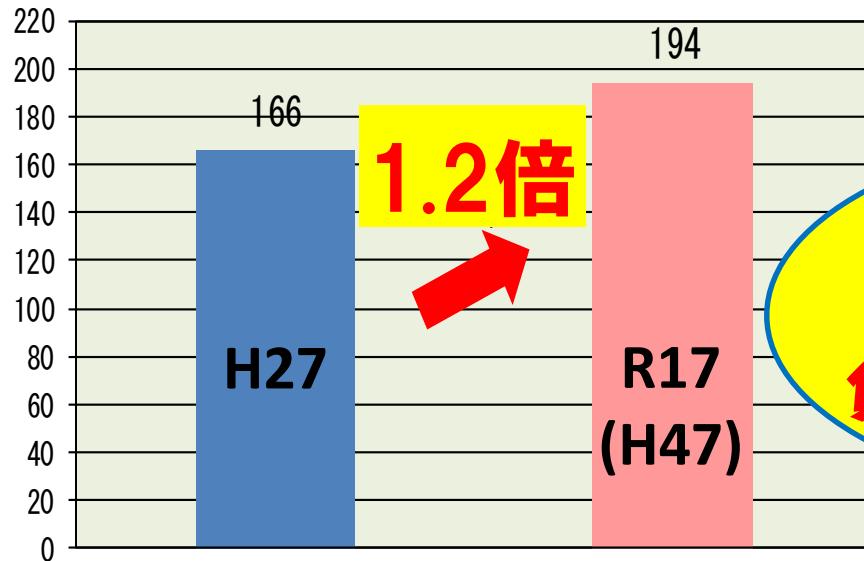


インフラの維持

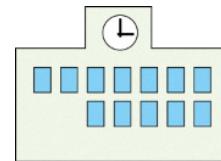


公共施設の適正配置

1人当たりの行政コスト



今の行政サービスの
維持に1人当たりの
負担が1.2倍になります



高岡市が目指すまちづくり

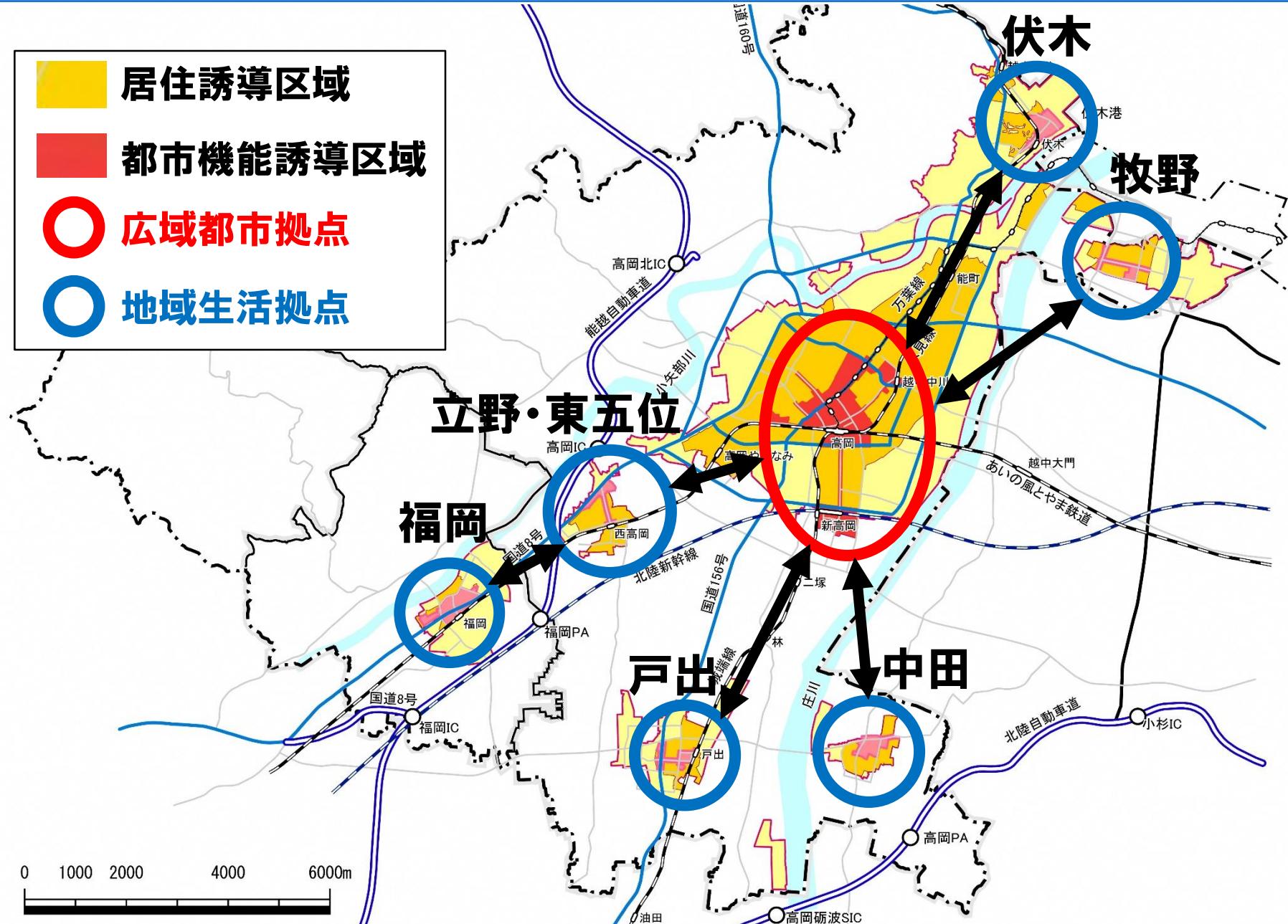
コンパクト・アンド・ネットワーク

原則、市街地をこれ以上拡大することなく、
市街地の外側に広がる農地や自然地の保全を図
りながら、人口減少・少子高齢社会の中でも持
続可能な都市づくりを目指す

20年後には
どんな都市に？



高岡市が目指すまちづくり



高岡市が目指すまちづくり

■ 金屋町（千本格子の家並み）



■ 山町筋（土蔵造りの町並み）



■ 赤レンガの建物



■ 瑞龍寺道



歴史の町並みゾーン

古城公園ゾーン

■ 高岡古城公園（高岡城跡）



■ 高岡大仏



高岡駅周辺ゾーン

駅南ゾーン

■ 瑞龍寺



■ 加賀藩主前田家墓所(前田利長)



新高岡駅周辺ゾーン

【凡例】

- 一般住宅地区
- 複合住宅地区
- 広域商業地区
- 工業地区
- 流通業務地区
- 農業稼興地区
- 田園集落地区
- 公園
- 環状道路
- 放射状道路
- その他の道路
- 歩行者ネットワーク（ストリート構想）
- 河川
- トイレ・憩い施設
- 中心市街地活性化・基本計画に基づく重点支援区域

高岡市が目指すまちづくり

まちづくりのコンセプト

飛越能地域の玄関口として

「来る人」を温かくもてなすまちづくり

- 大都市圏と飛越能地域との広域的な交通結節点として、
交流・観光機能を中心とした高次都市機能の誘導を図るゾーン

商 業

交流・観光

業 務

新幹線利用に
つながる機能

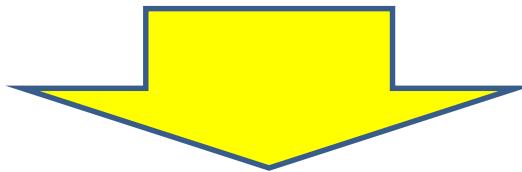
既存施設の
関連機能

市街化調整区域での土地利用

無秩序な市街化の拡大を抑制

農林漁業に必要な用地の確保

都市に必要な自然環境を保全

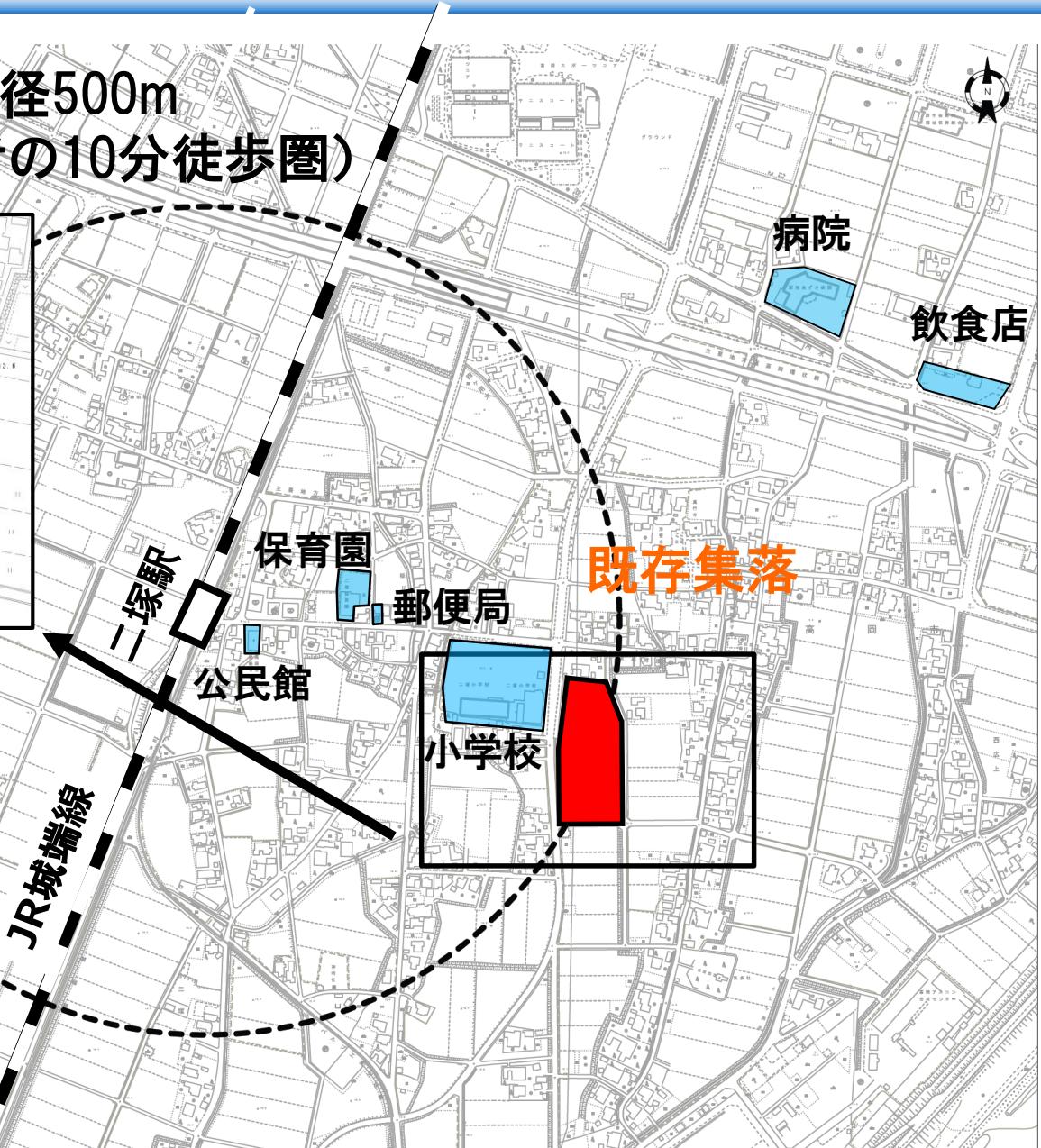
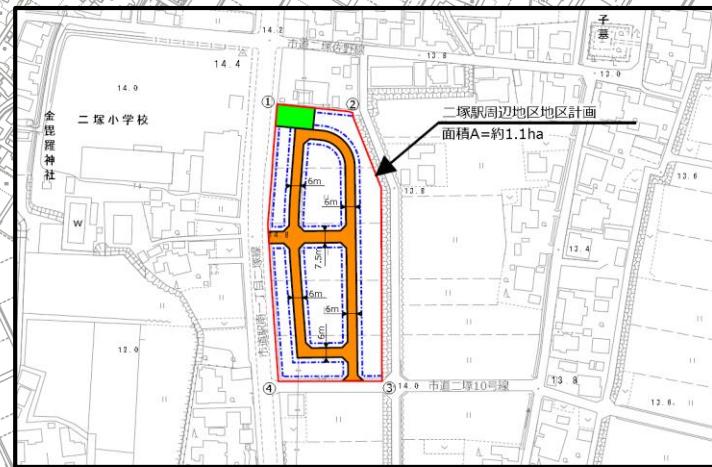


一定の制限のもとで建物を建てることになる

市街化調整区域での土地利用

※取扱注意

半径500m
(=高齢者の10分徒步圏)



まとめ

- ・農地を宅地化 ≠ ゴール
- ・持続可能なまちとするには、住みたいまちへ

行政や事業者等、多様な主体と連携した

住民主体のまちづくりの推進